

徒の社会的自立に向けて、校内自立支援教室の設置や学習支援員の配置等、支援体制の構築を図ります。

地域と共にある学校の実現を目指して、コミュニティ・スクールの導入に取り組むとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働できるよう、地域学校協働本部の取組を推進します。

遠方からバスを利用して通学する中学生・高校生の保護者の負担軽減を図るため、バス回数券の購入に対して支援を行います。

本市の文化活動の振興を図るため、文化芸術の振興拠点となる文化ホール（マティダ市民劇場）のさらなる利用促進に向けて、管理運営計画の策定に取り組みます。宮古馬放牧場の一般公開を実施し、宮古馬の保存と観光資源としての活用に向けた普及活動に取り組みます。

宮古上布・芋麻績みの技術・魅力の発信を推進するため、歴史文化資料館において展示室の整備や企画展等を開催します。併せて、指定文化財の保全と適正な管理および修復作業や保存管理のための計画を策定します。

#### 4 島の特色を活かした産業と多彩な交流・活力にあふれる島づくり

ふるさと納税への寄附を推進するため、寄附に対する返礼品の開発・発信を行い、特産品の知名度向上を通じた地場産業の活性化を図ります。

宮古島ICT交流センターを活用し、サテライトオフィスやワーケーションの誘致を進めるとともに、宮古島BPOセンターとの連携など、新たな雇用の促進を図ります。

さとうきびや園芸作物に対する有機質肥料と緩効性肥料の購入補助について、堆肥センターで製造された肥料の袋販売への補助に加えて、量り売りも補助の対象とすることで、循環型農業の推進と地力増進を図ります。

製糖製造に伴い発生する副産物について、堆肥製造施設への輸送補助を行い、地域循環型の堆肥製造を推進することで、農家への販売価格の値下げにつながります。収益性の高いハウス施設等について、修繕に必要な資材購入の一部を支援します。

市民の読書環境および児童生徒の学びの環境を向上させるため、図書資料や電子書籍を充実させます。

島の宝である博物館資料を後世に遺し伝えるため、資料の保存修復等を行います。また、来館者の利便性向上のため、案内看板の充実を図るとともに、館内にWiFi環境を整備します。併せて、博物館資料等をより広く公開・活用するため、デジタル・ミュージアムの整備を推進します。

#### 3 一人ひとりが支え合う幸せと潤いのある島づくり

支援を必要とする市民へのサービス導入等により地域福祉力の向上を図るため、各地区でのコミュニティソーシャルワーカーの配置を推進します。

高齢者の要介護状態や認知症の進行を防ぐため、外出等における移動手段への支援として、シニアカーの購入費への助成を行います。また、旧町村部からスパーや病院等が集積する市街地までを結ぶ新たな公共交通手段の構築に向けて、「系統3番・友利線」での

自然災害に対するリスクを軽減し、持続的な農業生産を行うため、各種農業保険事業の農家負担分への支援を拡充することで、災害等による損失防止に取り組みます。次世代を担う農業者の育成・確保を図るため、必要な機械・施設等の導入を支援するとともに、就農直後の経営開始資金を交付します。

農業生産活動の基盤である農業水利施設の長寿命化対策および防災・減災対策を実施します。

優良繁殖雌牛の自家保留に対する支援を行うことで、畜産振興へ向けた繁殖生産基盤を充実・強化し、肉用子牛の生産数の増加を図ります。また、素牛増産に向けた優良母牛への更新を支援し、肉用牛の生産拡大に取り組めます。

畜産農家の飼料高騰に対する負担軽減のため、飼料の自給率アップに向けて、バガス、酒粕などの資源を活用した島内循環型の飼料生産体制づくりに向けた調査を進めます。

地域コールドチェーンの構築に向けて、鮮度保持冷凍設備を用いた水産物の鮮度保持のための実証事業を引き続き実施します。

マンド型交通の実証運行を実施します。

増大する介護需要への対応として、介護人材の確保および介護職の定着率向上を図るための「介護初任者研修」「介護福祉士実務者研修」を新たに実施します。

障がい者のそれぞれの状況等に応じた支援を継続するとともに、各種サービスや相談体制の充実を図り、障がい者が自立して社会に参加できる環境づくりに取り組めます。

児童発達支援事業所を利用する保護者の負担軽減のため、対象児童へ提供する給食やおやつ費用を助成します。

子育て環境の整備・充実を図り、保護者が安心して働けるよう、下地地区に放課後児童クラブ、伊良部地区に放課後児童クラブと子育て支援センターの機能を併せ持った児童館を新たに整備します。

保育士の業務負担軽減および離職防止を図るため、保育人材の確保など、保育体制の強化を進めます。

ひとり親家庭を対象に、民間アパート等の賃貸物件を活用した住居支援や資格取得等への支援を行

シャコガイ類の種苗生産および技術支援、モズクの種付け、シラヒゲウニの中間育成と放流を行い、水産資源の維持・保全を図ります。また、藻類のクビレオゴノリ、キリンサイについて試験的増殖を行い、養殖事業としての確立を調査します。

高野クルマエビ養殖場の早期の事業再開に向けて、周辺設備の修繕を進めます。

みなとまちづくり計画を推進するため、ひらりん公園周辺地区で事業を展開する事業者選定の公募を新たに実施します。また、トウリバー地区について、民間資金の活用やPFIの導入可能性について検討を進めます。

伊良部地域の観光拠点として、牧山公園の再整備に取り組めます。水上オートバイ等の事故防止と遊泳者の安全を図るため、「水上オートバイ等事故防止重点区域」を拡充します。

島の生産物を使用した魅力ある新たな商品開発を推進するため、ブランドینگ開発に特化したコンテンツ等との開催に向けて取り組みます。雇用や経済を支える中小企業等

い、ひとり親家庭の自立支援を推進します。

こどもの疾病の早期発見と早期治療による健全育成のため、通院・入院とともに中学校卒業までを対象に医療費の保険診療自己負担分を助成します。

子育てしやすい環境づくりとして、オンラインによる医師や助産師との相談や子育て支援アプリの導入など、インターネットを活用した育児支援事業を実施します。

積極的な受診勧奨により、がん検診および基本検診の受診率を向上させ、市民の健康増進と健康寿命の延伸を図ります。

難病を抱える方や不妊治療を行う夫婦等、本市以外での治療を余儀なくされている方の経済的負担の軽減を図るため、渡航費の一部を拡充して支援します。また、子宮頸がんワクチン接種後の健康被害を訴えている方については、渡航費に加えて医療費等についても助成します。

心臓蘇生法やAEDの使い方がの手当などの応急手当の習得に繋げるため、市のホームページやSNS等を活用して救命講習会への受講者の拡大に取り組めます。

の振興によって地域経済の活性化を図るため、基本的な考え方や方向性を示す「中小・小規模企業振興条例」の制定に向けて検討を進めます。

「脱炭素グリッド」を軸に観光業と共存した地域の活性化を実現するため、国から脱炭素先行地域として指定された狩俣地区・下地地区において、太陽光パネルと蓄電池の導入を進めます。

八重千瀬およびその周辺地域の国定公園等への指定に向けて、自然環境調査やその結果に基づく保全活用のための関係者協議を進めます。

宮古上布の後継者育成と原材料である芋麻系の確保に向けた取組を推進するとともに、宮古織物事業協同組合と連携した系紡ぎ研修や展示会等の開催により、宮古上布のPRおよび販売促進に取り組めます。また、新たな商品開発として、麻織りに焦点を当て、多彩な商品の創出に取り組めます。

「全日本トライアスロン宮古島大会」「100kmワイドマラソン大会」「17kmエンドハーフマラソン」等、本市の魅力ある自然を活かしたスポーツイベントを開催し、閑散期の観光対策による地域活性化を図ります。